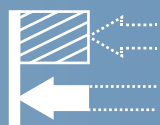
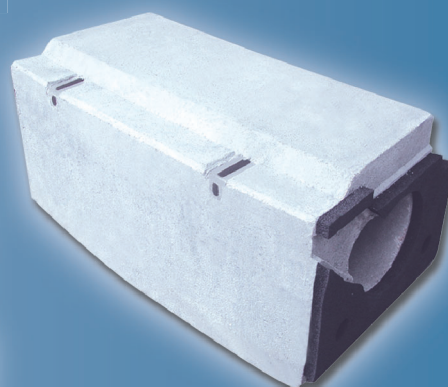


エプロンがなくなり、道路空間の再配分に最適!

ITOYOGYO

ライン導水ブロック PAT.

小型水路内蔵型歩車道境界ブロック



有効幅員の
拡大



路肩走行の
安全性向上



水溜り解消



水ハネ抑制

ライン導水ブロック工業会

ライン導水ブロック-F型^{PAT.}は、

安全で快適な道路空間を創出する歩車道境界

ライン導水ブロックの構造的な特徴

L型街渠の代替構造物として、歩車道境界ブロックと基礎コンクリートを一体化し、水路と集水スリットを設けた構造とすることで、

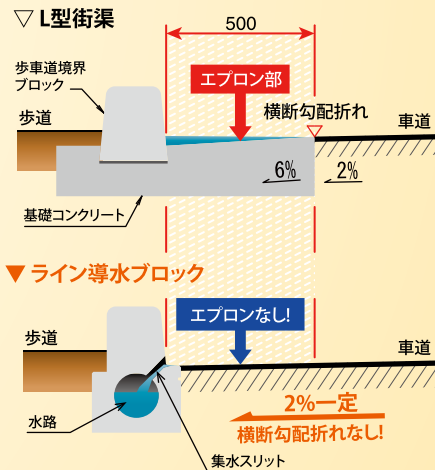


エプロンをなくすことができます！

その結果、このようなメリットが生まれます

① 平坦な路面が拡大し、路肩走行の安全性が向上

② 水溜り解消・水ハネ抑制



[自転車走行動画]

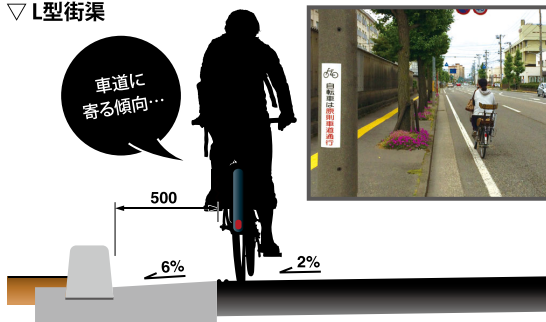
① 路肩走行の安全性向上

(エプロンがなくなることで) 段差や溝を解消し、平坦性を確保します！

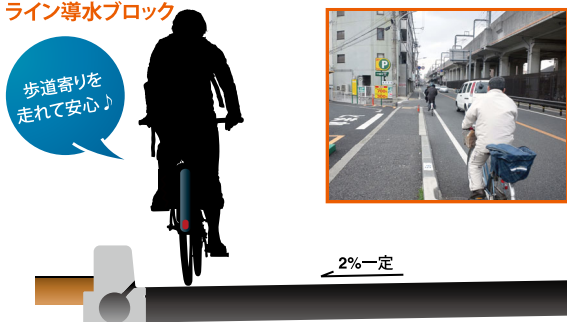


自転車走行空間を拡大し、安全な走行を実現！

▽ L型街渠

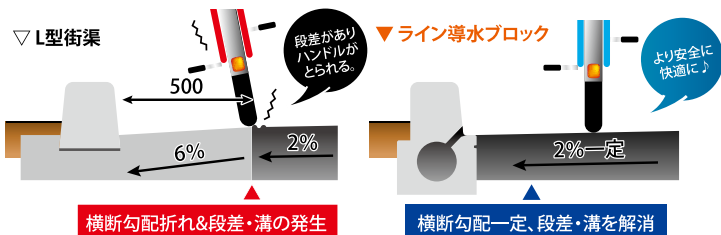


▽ ライン導水ブロック



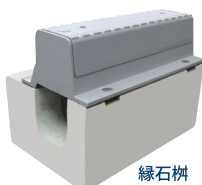
平坦性の確保、段差・溝の解消

- ▽ 横断勾配折れがなくなり、平坦性を確保！
- ▽ 通行の妨げとなる段差や溝が解消！

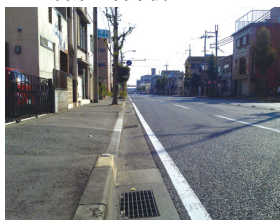


滑りにくい構造

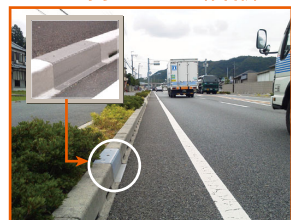
- ▽ 雨天時、エプロン部での滑りを解消！
- ▽ 雨天時、グレーチングでの滑りの問題を解消！
(「緑石樹」は車道側に突出しない構造のため)



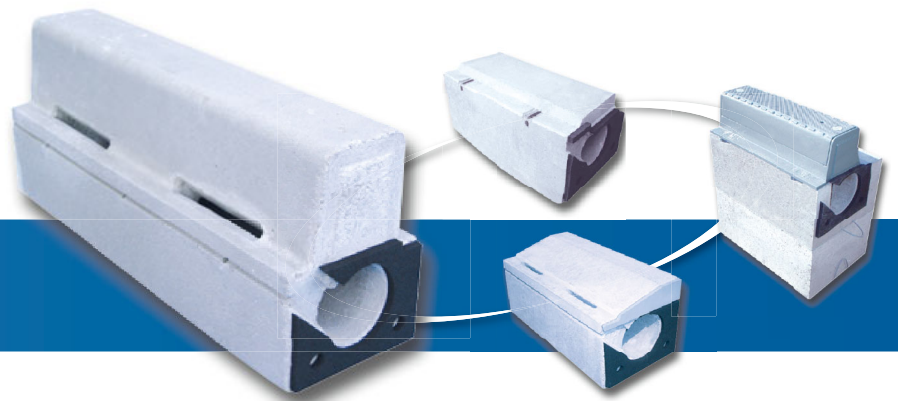
▽ L型街渠 + 街渠樹



▽ ライン導水ブロック + 緑石樹



ブロックです。



② 水溜り解消 & 水ハネ抑制

(バリアである水溜りを解消し) 歩行者が快適に通行できます!

交差点部の水溜り解消!

連続する集水スリットにより路面水を速やかに集水し、水溜りを解消します。



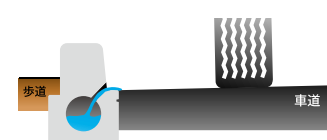
歩行者への水ハネ抑制!

水溜りがなくなること、水ハネを抑制します。

▽L型街渠



▽ライン導水ブロック



施工性向上

縁石と水路が一体型でコンパクトなため、施工性が向上します!

◎ 工程短縮

工種が少なく工程短縮ができるため、沿道住民への負担(騒音・振動)を軽減し、現道交通への影響(渋滞、事故の可能性)も軽減できます。

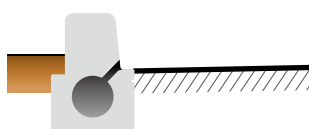
▽L型街渠



【工程】(基礎砕石工)

- 1 型枠工 (縁石基礎)
- 2 コンクリート工 (縁石基礎)
- 3 養生→型枠脱型
- 4 路側工
- 5 コンクリート工 (エプロン)
- 6 養生→型枠脱型

▽ライン導水ブロック



【工程】(基礎砕石工)

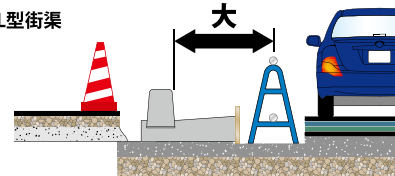
- 1 路側工

1工程で縁石と水路の設置が可能!

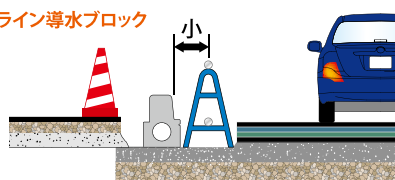
◎ 交通規制範囲の縮小

交通規制範囲を縮小し、現道交通への影響(渋滞、事故の可能性)を低減します。

▽L型街渠

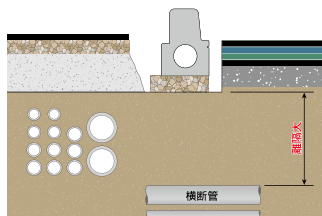


▽ライン導水ブロック



◎ 地下埋設物との干渉リスク低減

断面がコンパクトなので地下埋設物との干渉リスクを低減できます。



工程 現場施工時の工種が少なく済むため **極めて優れる。**

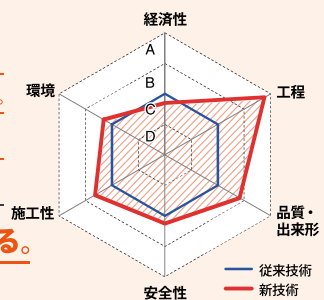
品質・出来形 二次製品を使用することから **優れる。**

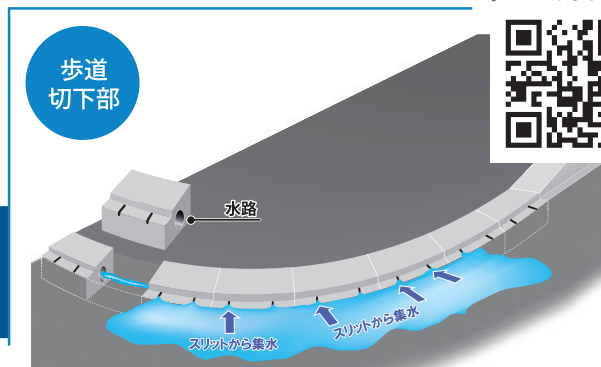
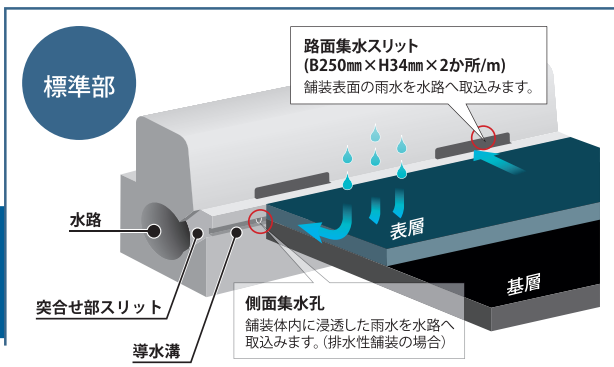
施工性 現場施工の減少により **優れる。**

経済性 環境 安全性 従来技術と同等。

総合評価 **従来技術より優れる。**

※ 従来技術：現場打ち L型街渠
 ※ NETIS「活用促進技術」の指定内容 (2015年2月)





施工実績と活用事例

日本全国で ※2024年3月末現在
6,767件の施工実績！



ライン導水ブロックは、道路空間の再配分に役立ちます！

<p>歩道拡幅</p>	<p>右・左折レーンの増設</p>	<p>歩車共存道路の構造的分離</p>
<p>自転車レーン</p>	<p>自転車道</p>	<p>バス停の設置</p>
<p>ラウンドアバウト</p>	<p>駅前広場</p>	<p>駐車場</p>

メンテナンスについて

★自社開発「管路洗浄システム スプラクリーン」による請負いも可能です。

▼スリットの清掃



スリットの清掃は、工具を使用して行います。(※高压洗浄による清掃も可能)

▼管路内の清掃



縁石柵から高压洗浄機で清掃します。

▼柵の清掃



柵に集まってきたゴミは、工具を使用して清掃します。

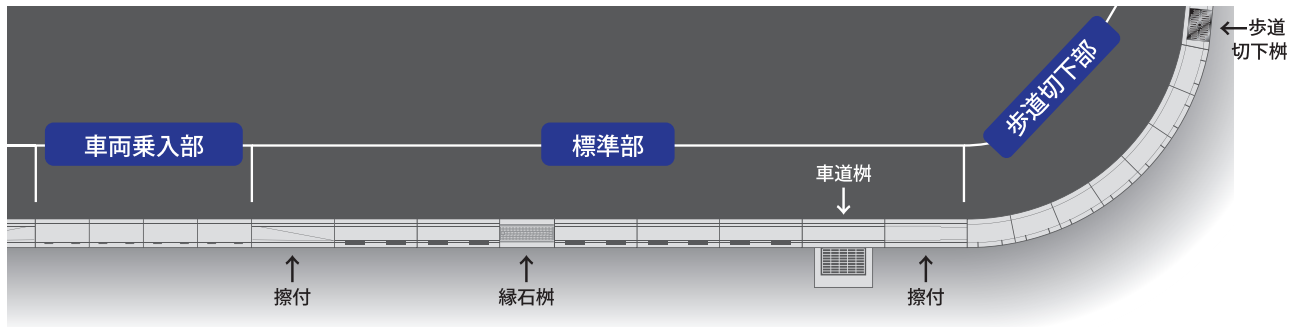


主要品目

*価格、詳細につきましては、営業担当者まで別途ご相談ください。

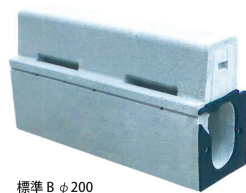
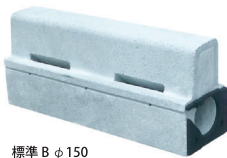
ライン導水ブロック-F型

*NETIS 掲載期間終了技術 (KK-020004-VE [活用促進技術])



■標準 A・B φ150・φ200 L=1,000mm ※A…A種(縁石高さ15cm) ※B…B種(縁石高さ20cm)

(点検口はL=600mm)



歩車両面集水タイプ

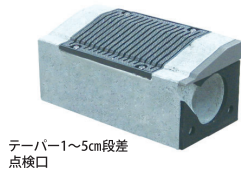
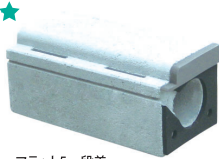


■車両乗入 φ150 L=600mm

テーパー1~5cm段差、フラット5cm段差

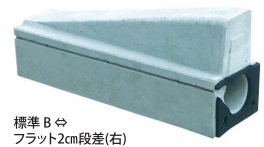
T-25
対応

※φ200については別途ご相談ください



■擦付(車両乗入) φ150 L=1,000mm

※φ200については別途ご相談ください

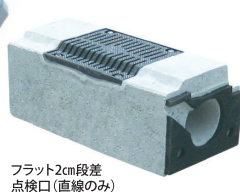
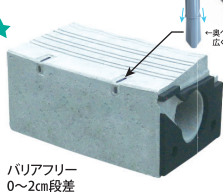


■歩道切下 φ125 L=600mm

フラット1cm・2cm段差、テーパー0~2cm段差
バリアフリー0~2cm段差 (R1.5を除く)

T-25
対応

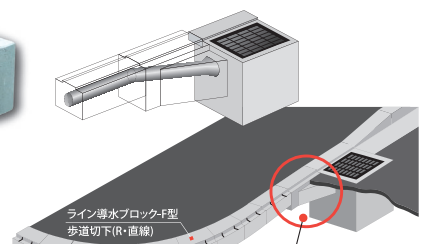
切下部用ブロックは集水口に
プラスチック部品を使用して
集水機能低下を防いでいます。



R1.5 | R2.5 | R3.5 | R4.5 |
R6.0 | R12.0 | 直線
※φ150あり(直線のみ)

■アダプターブロック φ125 L=600mm

既設柵への接続が可能です。



バイコン製法の特性上、
製品表面が粗面となり滑りにくく、
一般的な製品 55程度
スリップ転倒事故の危険性を
ライン導水ブロック 65~90程度
低減します!

▼滑り抵抗値(BPN値)比較…湿潤時

一般的な製品 55程度
ライン導水ブロック 65~90程度
*アスファルト舗装:60~80、マンホール蓋20~40

■縁石 (A・B) φ150・φ200 L=600mm

■車道柵 (A・B) φ150・φ200

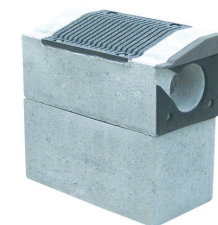
T-25
対応



■車両乗入柵 φ150 L=600mm

テーパー1~5cm段差、フラット5cm段差
※φ200については別途ご相談ください

T-25
対応



■歩道切下柵 φ125 L=600mm

フラット1cm・2cm段差、テーパー0~2cm段差
バリアフリー0~2cm段差

T-25
対応



その他 ライン導水ブロックシリーズ

■ ライン導水ブロック「ペダループ」

φ150 L=1,000mm

ペダルの退避スペースを生み、
自転車の転倒や車との接触を防止
「ペダル対応 歩行道境界ブロック」



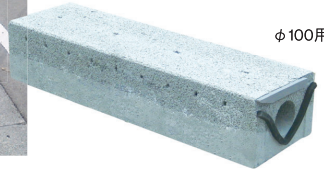
■ ライン導水ブロック-G型

T-25
対応

φ100, φ150 L=1,000mm



排水性舗装において、
ドレンパイプの目詰まりに
より排水性能が低下する課題を
解消するエプロンブロックです。



■ ライン導水ブロック-K型

T-25
対応

φ150 L=1,000mm



上面に排水スリット、
側面に集水孔をもった
境界ブロックです。



ライン導水ブロックの新たなご提案

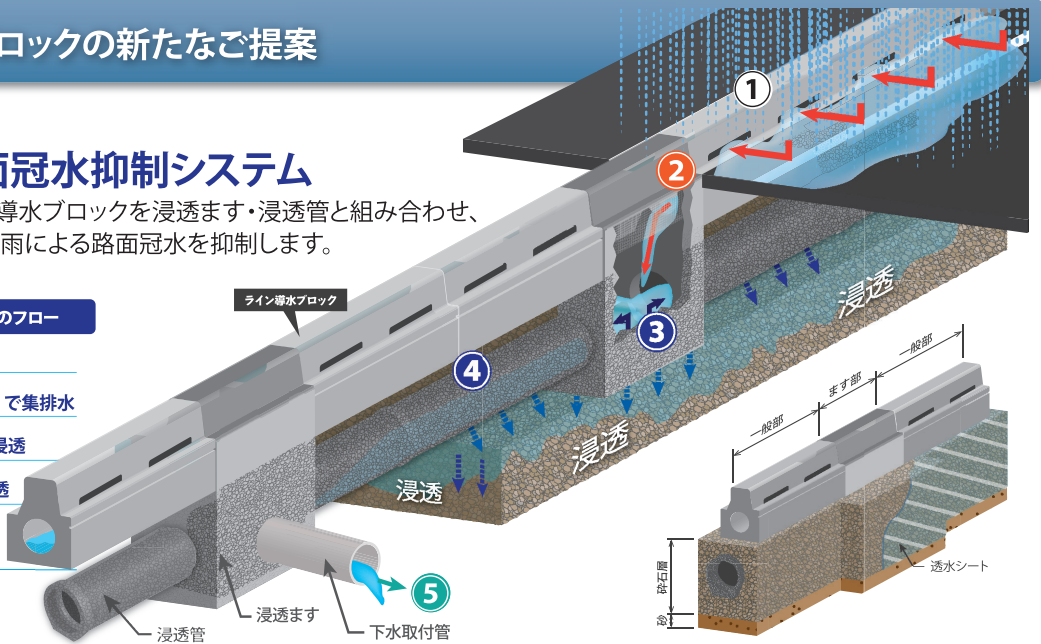


路面冠水抑制システム

ライン導水ブロックを浸透ます・浸透管と組み合わせ、
集中豪雨による路面冠水を抑制します。

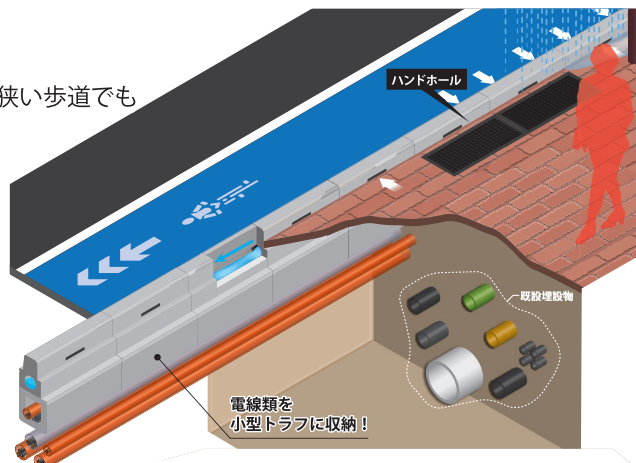
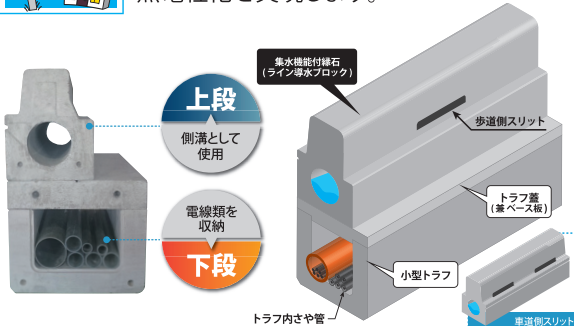
路面冠水抑制システムのフロー

- ① 降雨
- ② 「ライン導水ブロック」で集排水
- ③ 「浸透ます」で地中へ浸透
- ④ 「浸透管」で地中へ浸透
- ⑤ (浸透しきれなかった分は) 下水へ放流



D.D.BOX Pleon

ライン導水ブロックの下に電線類を収納し、狭い歩道でも
無電柱化を実現します。



原寸大の集水スリット

標準 横 250mm × 縦 34mm
車両進入 横 150mm × 縦 20mm

ライン導水ブロック工業会

【事務局】 株式会社イトーヨーギョー 内 〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14 TEL.06-6455-2503 FAX.06-6451-8716



http://www.itoyogyo.co.jp http://store.itoyogyo.co.jp

大阪支店 〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14 TEL.06-6455-2503 FAX.06-6451-8716
神戸支店 〒650-0004 神戸市中央区中山手通5丁目1-3 TEL.078-367-6703 FAX.078-367-6707
東京支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目4-16 TEL.03-5623-5132 FAX.03-5623-5133

※商品の色が印刷のため多少異なる場合があります。尚、商品の仕様を予告なしに変更することがあります。